

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
芸術	書道 I	1	2	選択必修

到達目標	書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と基礎的な能力を伸ばす。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1 学期 中間	オリエンテーション 文字の成り立ち 細字（楷書） 楷書	年間を通じて、鑑賞レポートが課される。 制作に用いる用具（大筆、小筆、墨、硯等）の基本的な使い方を学ぶ。	
1 学期 期末	篆書 篆刻	印の歴史的な役割を学び、自分の落款印を制作する。これは、今後の作品に使用していく。	
2 学期 中間	楷書 倣書作品 生活の中の書（ステンシル作品） 行書	古典というものに初めて接し、古来より尊重されてきたさまざまな美しい書の表現を学ぶ。 生活の中で見られる筆文字を探して、くることが課される。生活の中での書の役割について学ぶ。	
2 学期 期末	干支作品 カレンダー作品 折り染め	濃墨、淡墨の使い分けや線の表情について学び、それを作品に応用させる。 表具をするなど、作品を完成させる方法、紙の性質についても同時に学ぶ。	
学 年 末	漢字仮名まじり文 ラミネート作品 鑑賞会 細字（仮名）	一年間学んできたことをまとめる意味での作品づくりをする。身近にある物を用いて、生活の中で活かせる書作品を目指す。	

評価方法と 評価のポイント	出欠状況、準備物の有無、提出課題によって評価する。作品に誠実に取り組み、振り返り、表現力を高められているかがポイント。出席し、提出物を必ず提出すること。
--------------------------	--

教科からのアドバイス

書道用具（大筆、小筆、墨、筆巻き）については、高等学校での芸術を学ぶにふさわしいものを準備する。